

15回生 附高三九金沢会

コロナ禍の中 一昨年秋11月に発足した「四季・楽話会」二回目は昨年度（2021年）4月8日（木）10時から香林坊ラモーダビル7F 県NPOセンター会議室で開かれ、資料（テキスト）として、元副校長の松田章一さんの「附高外伝・生徒編」を中心に当時を語り合い「二x八」に戻る（？）時間を持った。2次会のランチ会は「大和」8Fの「香林坊」で更に2時間程の語り合いとなった。

三回目はコロナ禍小休止をぬって同年10月22日（金）10時から、いつもの上記同所で開かれ「先生を語る～青春を語る」をテーマとし、資料（テキスト）として、松田章一先生の「附高外伝」から、学校編の内、①教官紹介歌（第29回生作）②高瀬先生定年退職時に送別の贈呈詩③恩師の去就（担任他） 光谷先生は1991年67才で逝去、高瀬先生は2009年88才で逝去、能崎先生は2014年逝去。④高瀬先生が生前、特に（84翁の時）、我ら15回生の還暦同窓会（卒業42周年）に寄せられた一文、等々。

参加社者は天井、大島、進村、鈴木、中田、番場さんの女性軍になんと関東から高田哲夫君（神奈川）が加わり、当地では山本尚武君と小生（東度）。日比野さんが当日朝に体調悪しで欠席し、口惜しがることしきり。

「先生を語る」のテーマは話題に尽きることもなく、時間が瞬くまに過ぎゆく……。次いで2つのハプニングがあり、山本君より高瀬先生の退職定年（1985年3月）に松田章一先生が作詞し当時3年生の原理華さん（36回生）が作曲した「はじめての街はいつもときめき」をCD化してくれたこと。ラジカセで聴き山本君のリードで一同口ずさんだ。すばらしい!!

今一つは高田君より昭和36年（1961）12月7日付第62号の金大付高新聞のコピーが呈示され榎本先生の「わたしの青春」や彼自身新聞部員としての論壇「ヨソ者はかく言いたい」が披露され、彼の当時の記憶力には一同びっくり感心する。二つとも全容詳細を掲載できず残念ですが、実に楽しい語り合いだった。次いで二次会のランチ会は金沢ニューグランドホテル2F「カトレア」で催した。いつコロナ禍が終息するのか不明だが、何とか継続していきたい。参加を乞う。

（東度長司記）

（追）同窓会各位へ

高瀬先生の退職送別の贈呈詩・作曲のCDは附高同窓会担当の酒井教官（59回生）か直接東度迄申し出て下さい。貸出します。